

子宮がん細胞診

年齢	頸部細胞診(ベセスダ分類)										体部細胞診		
	受診者数	要精検者数 (D・E判定)	NILM (陰性)	ASC-US	LSIL (軽度)	HSIL (中度)	HSIL (高度)	HSIL (上皮内癌)	AGC (腺異型または腺癌疑い)	判定不能	受診者数	陰性	判定不能
29歳以下	410	2	408	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
30-34歳	353	0	353	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
35-39歳	769	2	767	0	2	0	0	0	0	0	3	2	1
40-44歳	1,114	3	1,111	1	0	2	0	0	0	0	10	10	0
45-49歳	1,404	7	1,397	1	2	2	1	0	1	0	29	26	3
50-54歳	1,364	6	1,358	0	1	1	2	0	2 (1)	0	50	49	1
55-59歳	1,100	4	1,096	2	0	1	0	0	1	0	35	35	0
60-64歳	710	1	709	0	0	0	1	0	0	0	8	8	0
65-69歳	496	1	494	0	0	0	0	0	1	1	11	11	0
70歳以上	461	2	459	1	0	0	1	0	0	0	7	7	0
計	8,181	28	8,152	6	5	6	5	1	5 (1)	1	154	149	5
%		0.3	99.6	0.07	0.06	0.07	0.06	0.01	0.06	0.01		96.8	3.2

子宮頸部細胞診検査の受診者数は8,181人、このうち要精検者数は28人(0.3%)でした。
精検結果は、子宮体がん1人、CIN3(頸部上皮内腫瘍)4人、CIN2(中等度異形成)3人、CIN1(軽度異形成)3人、
受診先での経過観察2人、不明が15人でした。

子宮体部細胞診検査の受診者数は154人、このうち要精検者数は0人(0.0%)、判定不能5人(3.2%)でした。

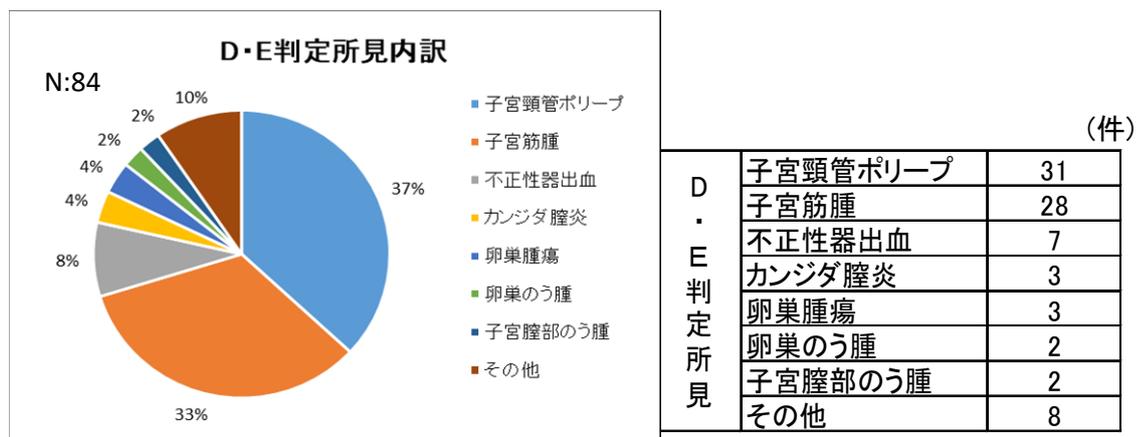
◇HPV(ヒトパピローマウイルス)検査の受診者数は、26～58歳の26人でした。
検査結果は陰性が24人、陽性が2人(45～49歳、50～54歳)でした。
(病理検査結果は子宮頸癌取扱い規約(第4版)に準拠した結果です)

NILM : 陰性	HSIL : 上皮内癌
ASC-US : 軽度扁平上皮内病変疑い	SCC : 扁平上皮内癌
ASC-H : 高度扁平上皮内病変疑い	AGC : 腺異型または腺癌疑い
LSIL : HPV感染	AIS : 上皮内腺癌
LSIL : 軽度異形成	Adenocarcinoma : 腺癌
HSIL : 中等度異形成	Other malign.: その他の悪性腫瘍
HSIL : 高度異形成	判定不能

婦人科内診所見

年齢	受診者数	要精検者数 (D・E判定)	子宮筋腫	子宮筋腫疑	付属器腫瘤	付属器腫瘤疑	頸管ポリープ	その他
29歳以下	409	4	0	3	0	0	0	4
30-34歳	353	1	3	1	0	0	9	1
35-39歳	769	5	10	4	3	0	22	5
40-44歳	1,114	14	41	10	0	0	57	4
45-49歳	1,404	24	79	15	2	1	106	30
50-54歳	1,364	20	83	20	2	0	101	33
55-59歳	1,100	5	36	6	1	0	76	36
60-64歳	710	5	20	4	0	1	54	31
65-69歳	496	2	4	0	0	0	32	15
70歳以上	461	1	1	0	1	0	12	32
計	8,180	81	277	63	9	2	469	191
%		1.0	3.4	0.8	0.1	0.02	5.7	2.3

頸管ポリープは469人(5.7%)、子宮筋腫は277人(3.4%)、付属器腫瘤は9人(0.1%)でした。有所見者の中には、複数有所見者が30人いました。



その他8件は、急性外陰炎、膣下垂、筋腫様子宮、子宮腺筋症、子宮脱、外陰部腫瘤、萎縮性膣炎、付属器腫瘍の各1件です。